

タブレットを活用したプレゼン発表までの一連の活動と学習評価
(SUNSHINE ENGLISH COURSE 2 Our Project 4 「夢の旅行」を企画しよう)

- ①話・発
- ②協・発
- ②評価
- ③タブ
- ④Google
ジャムボード

【ここがポイント！】

今回の活動のポイントは2つ。

①「動画撮影による自己評価と動画の提出」～十分な発話量の確保～

生徒は作成したメモを基に、カメラに向かって発表の練習をする。自分たちの発表の様子がALTの先生の目にどのように映るのか、客観的な視点から振り返りができるため、英語の発音や声量のみならず、聞き手に配慮したより良い発表にすることができ、提示する資料の見え方や立ち姿などに関する振り返りも見られる。その後、撮影した動画の中から1つを選びGoogle クラスルームへ提出し、教師はそれを評価の際に活用する。

②「発表内容の推敲、改善」～Google ジャムボードの有効活用～

生徒はALTにオススメの旅行先を伝えるため、インターネットでALTの希望に沿う旅行地を決定し、そこで出来ることなどをGoogle ジャムボードに付箋で貼り付ける。また、発表の練習の様子を撮影した動画を見直す際にも、Google ジャムボードを用いて各グループでの振り返りを可視化し、良かった点や改善点などをまとめる。付箋を書き直す、移動する、グルーピングするなどのGoogle ジャムボードを用いた活動を通して、発表内容の改善につなげることができる。

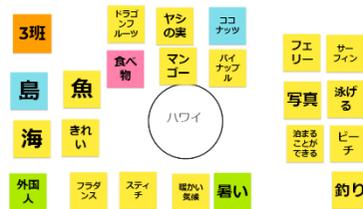
【実践の目標】

聞き手に分かりやすいプレゼンをするために必要なことは何か考え、気付き、ALTが喜んでくれる発表をすることができる。

【実際の場面】

1. オススメする旅行先の決定

ALTからの、「暖かい国で、海で泳ぐことができ、南国の果物を楽しめる場所に行きたい」というリクエストを受け、生徒はそれらを満たす国を調べ、Google ジャムボードに書き込んだ。テーマごとにグルーピングし、伝える内容を精選した。



2. 発表内容の推敲

生徒はオススメする旅行先について調べた内容から、より分かりやすい発表にするために、発表する内容を絞ったり、順番を考えたりした。学習した事項を活用しながら、その国についての紹介文を考えた。

3. 発表資料の作成

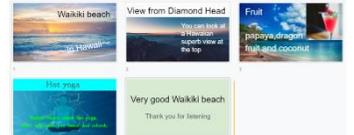
Google スライドを用いて、その国の魅力を伝える資料を作成した。生徒は担当するスライドを、意欲をもって作成することができた。聞き手のことを考え、見えやすさを考慮し、サイズやレイアウトを考えたり、文字の色を調節したり工夫をした。

4. 発表の練習

作成したスライド資料を示しながら、グループで何度か練習をした後、動画を撮影しながら、カメラに向けて発表練習をした。撮影した動画をグループごとに振り返り、気付きをGoogle ジャムボードに書き込んだ。それらを基に何度も撮り直し、改善点を少しずつ修正した。

5. 提出された動画の採点・評価

撮影した動画の中から最も良かったものをGoogle クラスルームに提出し、教師は評価の際に活用した。



6班	風が強く、雨が多かった。	発表の準備ができていた。	話すスピードが速かった。	英語の発音が上手だった。	発表の準備ができていた。	話すスピードが速かった。	英語の発音が上手だった。
5班	英語の発音が上手だった。	発表の準備ができていた。	話すスピードが速かった。	英語の発音が上手だった。	発表の準備ができていた。	話すスピードが速かった。	英語の発音が上手だった。
4班	英語の発音が上手だった。	発表の準備ができていた。	話すスピードが速かった。	英語の発音が上手だった。	発表の準備ができていた。	話すスピードが速かった。	英語の発音が上手だった。
3班	英語の発音が上手だった。	発表の準備ができていた。	話すスピードが速かった。	英語の発音が上手だった。	発表の準備ができていた。	話すスピードが速かった。	英語の発音が上手だった。
2班	英語の発音が上手だった。	発表の準備ができていた。	話すスピードが速かった。	英語の発音が上手だった。	発表の準備ができていた。	話すスピードが速かった。	英語の発音が上手だった。
1班	英語の発音が上手だった。	発表の準備ができていた。	話すスピードが速かった。	英語の発音が上手だった。	発表の準備ができていた。	話すスピードが速かった。	英語の発音が上手だった。

【成果と課題】

【成果】

- ALTからの依頼に応えるために、旅行先の決定からスライド資料の作成、発表まで、生徒は意欲をもって取り組むことができた。
- 動画を撮影することで、より良いものを目指そうと何度も撮り直し、発話量の向上につながった。

【課題】

- 発表内容をGoogle 翻訳に頼りすぎる生徒もいるため、タブレットを活用する場面と既習事項を活用して表現する場面を意図的に設定する必要がある。
- 発表内容についての深まりをもたせるために、生徒同士でその国についての詳しい説明を求めたり、教師から意図的に働きかけたりする必要がある。